

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：聖美保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長： 白木英里奈	定員（利用人数）： 90名 (利用者90名)	
所在地：〒201-0843 神奈川県川崎市川崎区桜本2-41-11		
TEL：044-266-7227	ホームページ： <a href="https://www.futabaaijikai.jp/publics/index/17/">https://www.futabaaijikai.jp/publics/index/17/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1953年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人ふたば愛児会		
職員数	常勤職員： 20名	非常勤職員： 12名
専門職 員	園長 1名	主任 1名
	副主任 2名	保育士 16名
	保育補助 6名	支援員 1名
	栄養士 3名	調理師 1名
施設・ 設備の 概要	保育室 6室	トイレ 8カ所
	調理室・厨房 1カ所	事務室 1室
	沐浴室	調乳室
	医務室	園庭 あり
	屋上	倉庫 4カ所
	別棟倉庫 1カ所	

③理念・基本方針

【園理念】

民主的な社会を支え、良き市民となるよう適応力を身につける基礎を培います。  
子どものための地域社会文化の発展を図るよう役割を果たします。

【保育方針】

心身共に健康な子どもを育てます。  
情操の豊かな子どもを育てます。  
実行力・集中力のある子どもを育てます。  
思いやり・やさしさを育てます。  
民主的社会性を育てます。

保育目標

- 1, 自分のお話ができる子
- 2, 友達のお話が聞ける子
- 3, 体を動かして思い切り遊べる子
- 4, 食べることが大好きな子
- 5, 物を大切に子

まず、自分の気持ちや意見をしっかり主張できる環境を整え、次に、自分の主張だけでなく、他者に意見にも耳を傾けられるように保育し、心や体を動かす体験を沢山し

て、お腹がすいて、楽しく食事ができるようにしたいと考えています。また、玩具や机や椅子などの物は、作ってくれる人がいて、運んでくれる人がいて、お金を出して買ってくれる人がいて…と沢山の人が関わりいろんな人の思いが詰まっているので、大切にしようと伝えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

体操保育の実施：2歳児クラスから5歳児クラスまで、外部講師の総合体育研究所の講師による体操教室を水曜日に隔週で実施しています。また、年1回程度、エール株式会社講師による安田式体育遊びの体操教室や職員の研修を行い、研鑽しています。

英語保育の実施：外部講師を招き、5歳児クラスのみ年20回程度英語指導をしてもらっています。行事での発表も行っています。

描画保育の充実：人や物、植物の成り立ちや特徴を捉えることや、指先の発達を促すことを目的とした描画指導に力を入れています。職員は、年2回描画指導案を提出し評価反省を行っています。

国際的な環境：外国籍の方が多い地域なので、多国籍な環境で、お互いを尊重しながら生活しています。

地域との連携：向かいの朝鮮初級学校のグラウンドをお借りしたり、聖美保育園に移動動物園にお招きして交流しています。公園に遊びに行った際やお散歩の途中、地域の方とお互いに挨拶をしています。

食育活動の充実：幼児クラスは、ピュッフェ形式での食事の提供をしており、自分で食べる量を決めています。栄養については、ショクイクレンジャーというオリジナルのキャラクターを作り、食育指導をしています。また、年齢に合わせた栽培活動や野菜の皮むき、野菜・果物洗いを通じて、食材に触れる機会を持っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年7月15日（契約日） ～ 令和5年3月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 個人差や多様性を尊重した保育が実践されています

園にはベトナムやフィリピン、ガーナ、ペルー、韓国など両親のどちらかが外国出身の子どもが複数人在籍し、また配慮の必要な子どもも在園しています。人種、文化、障害など、違いを認め、すべてを受け入れ、多様性を尊重する保育支援として、保育士の高い専門知識・技術の体得と行政の巡回指導や民間の専門家による定期的・継続的な観察や助言を受けています。園では、子ども、保護者、園の全体で多様性を受け入れ、誰もが安心して利用できる保育環境を整え、優しさや思いやりに繋げる保育を行っています。

2) ICTを駆使し、効率的な業務を実施しています

園ではICT化を推進し、多岐にわたる園業務を可能な限りシステム移行することで業務の効率化を図り、利便性を最大限に活用しています。園は地域的な特徴として外国籍の保護者も多く、翻訳ツールや視覚的に確認できる情報ツールとしてICTシステムが非常に有用で、伝達漏れのリスクを避け、保護者と園の連絡や情報共有がスムーズに行われています。このICT化の導入により職員の業務軽減に繋がり、残業もなく、有給休暇は90%以上の高取得率となり、ワークライフバランスに配慮した就業環境

が整えられています。業務効率化に伴い、園児と向き合う保育時間の確保や保護者とのコミュニケーションも深まり、共に子どもの成長を喜び、支える保育環境に繋がっています。

### 3) 園に即したマニュアルの整備が期待されます

保育や園の運営に関して、全ての分野で保育所保育指針や市の子育てに関する方針・制度に沿った対応と取組がなされています。しかし、一部で書面による文章化やマニュアル化の不足、反省や振り返りによる改善策の実行で徹底さを欠く面が見受けられます。職員育成も含めて、マニュアルや手順書を整理・統合し、歴史ある保育園として培った経験や知識という財産を加味して、保育と保育園経営の全てを網羅した「保育マニュアル」を作成することが望まれます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審にあたり、常勤・非常勤職員全員で取り組み、意見交換や自己評価をしていく中で、園としての考え方や保育についての共通認識をより強くもつことができました。今後も定期的に意見交換をしていきたいと思えます。

調査の結果につきましては、自園の良く出来ている点や努力が必要な点に気が付く事ができました。良かった点は、引き続きより良くなるよう続け、努力が必要な点は、法人とも相談しながら職員と話し合っ、改善して行きたいと思えます。

保護者の皆様にはご協力いただき感謝申し上げます。温かいお言葉をいただき、意欲向上と自信にも繋がり、とても励みになりました。至らない点につきましては、職員一人ひとりが再認識し、改善に向けて取り組んでおります。地域子どもたち、保護者にとって安心して過ごせる場所であるために、邁進してまいりますので、今後とも、聖美保育園をよろしくお願い致します。

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり